

奥尻町自殺対策計画

平成31年3月

奥 尻 町

目 次

| | | |
|------------|------------------------|-----------|
| 第1章 | 計画策定の趣旨 | 1 |
| 1. | 計画策定の趣旨 | 1 |
| 2. | 計画の根拠と法的位置づけ | 2 |
| 3. | 計画の期間 | 2 |
| 第2章 | 奥尻町の自殺の状況 | 3 |
| 1. | 自殺者・自殺死亡者の推移 | 3 |
| 2. | 年代別の状況 | 4 |
| 3. | 職業別の状況 | 5 |
| 第3章 | 計画の基本的な考え方 | 6 |
| 1. | 基本理念 | 6 |
| 2. | 数値目標と指標 | 6 |
| 3. | 基本目標 | 7 |
| 4. | 施策の体系 | 8 |
| 第4章 | 自殺対策における取り組み | 9 |
| | 基本目標1. いのちと心を大切にする町づくり | 9 |
| | （1）自殺に関する普及啓発活動の推進 | 9 |
| | （2）こころの健康づくりの促進 | 9 |
| | （3）こころの病気の早期発見の促進 | 11 |
| | 基本目標2. いのちを救うための町づくり | 12 |
| | （1）自殺に関する相談窓口の充実 | 12 |
| | （2）各種相談機関ネットワークの強化 | 14 |
| | （3）自殺予防のための社会環境の整備 | 15 |
| 第5章 | 計画の推進体制 | 16 |
| | 別表1 「道、関連機関等の事業」 | 17 |

第1章 計画策定の趣旨

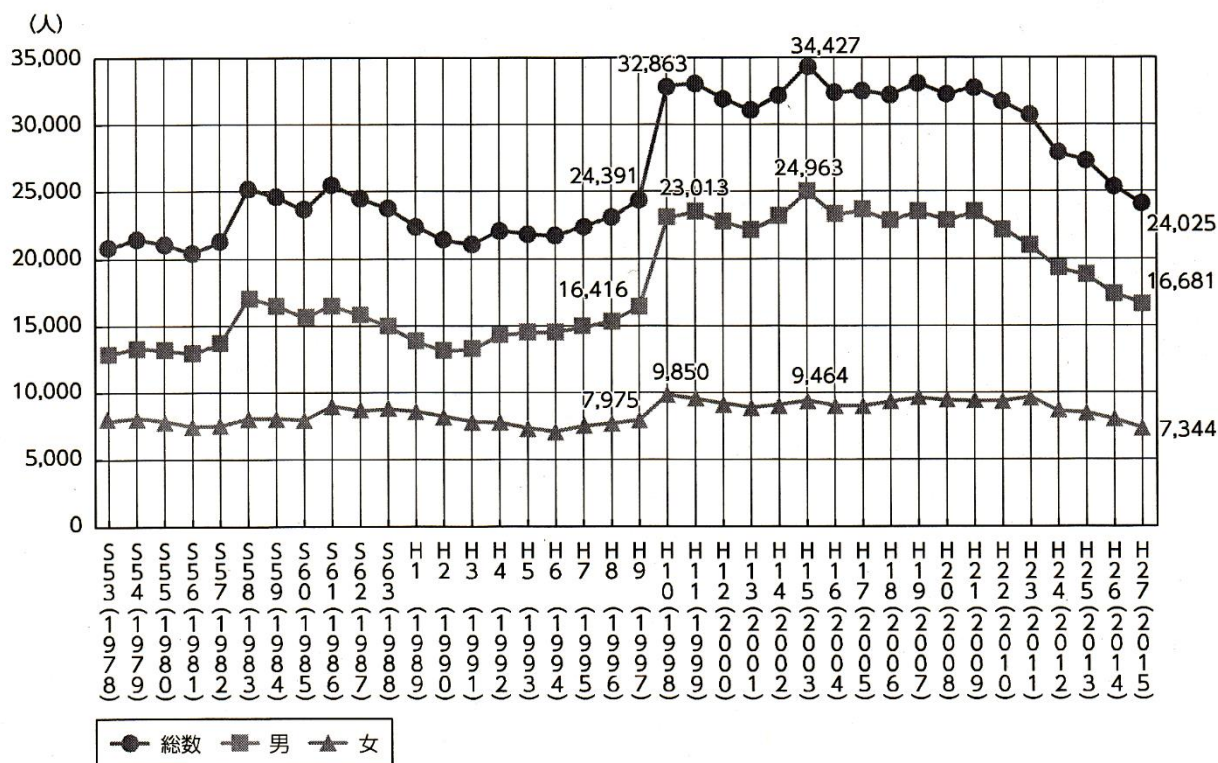
1. 計画策定の趣旨

日本の自殺者数は、平成10年に急増し、3万人前後の高水準で推移しています。平成18年の自殺対策基本法の成立以降、さまざまな取り組みの成果もあり、平成23年以降はわずかに減少傾向にあります。しかし、国際的に見ても、その死亡率は高いもので、依然、深刻な状況にあります。

自殺対策基本法には、「自殺が個人的な問題としてのみ捉えられるべきものではなく、その背景に様々な社会的要因があることを踏まえ、社会的取り組みとしてその予防策が実施されなければならない。」と明記されています。

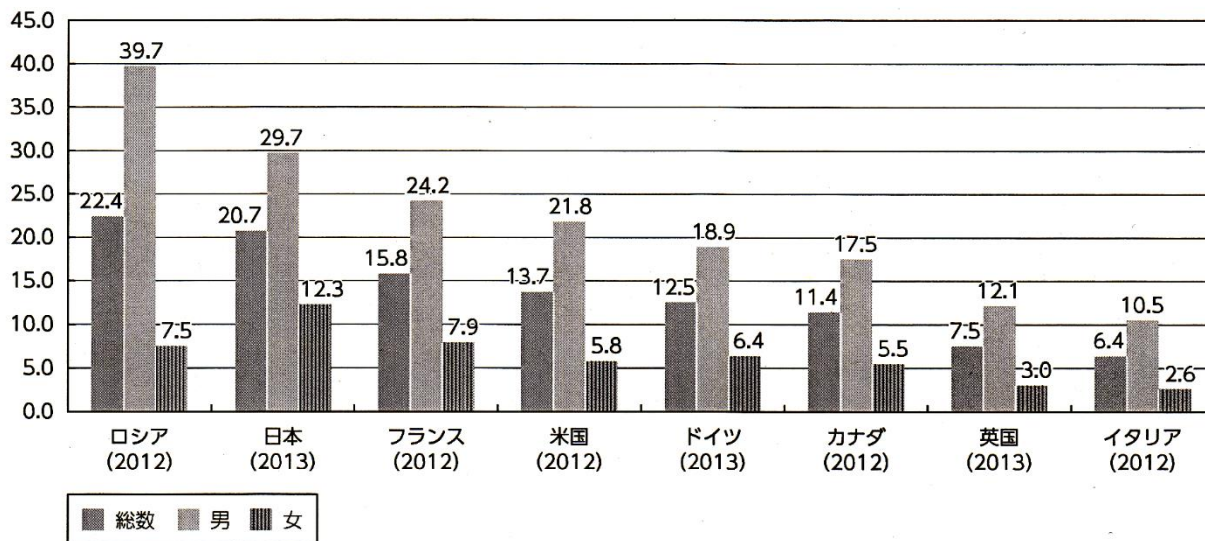
平成28年4月、自殺対策基本法の改正があり、自殺対策のより一層の推進と、より具体的な計画の必要性が謳われました。これを受け、本町においても、地域の課題を踏まえ、自殺対策の方向性を示す「奥尻町自殺対策計画」を策定することとしました。

【自殺者の推移(自殺統計)】



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

【国際的にみた自殺の状況】



資料：世界保健機関資料「Preventing suicide: A global imperative」などより厚生労働省自殺対策推進室作成

2. 計画の法的根拠

自殺対策基本法第13条では、「市町村は、自殺総合対策大綱及び都道府県自殺対策計画並びに地域の実情を勘案して、市町村自殺対策計画を定めるもの」とされており、本計画は、同法に規定する「市町村自殺対策計画」として策定します。

3. 計画の期間

本計画の期間は、平成31年度から8年間とします。

4年後の平成34年度(2022年度)に進捗確認のための中間評価を行い、社会状況の変化や自殺対策基本法、または自殺総合対策大綱の見直し等の国の動向も踏まえ、必要に応じ見直しを行います。

| 年度 | 平成 | 31年度 | 32年度 | 33年度 | 34年度 | 35年度 | 36年度 | 37年度 | 38年度 |
|--------|-----------------------|--------|--------|--------|------------|--------|--------|--------|--------|
| | 西暦 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 |
| 自殺対策計画 | ← 計画期間(2019~2026年度) → | | | | | | | | |
| | | | | | 2022年度中間評価 | | | | |

第2章 奥尻町の自殺の状況

地域の自殺の実態把握をするためには、厚生労働省や警察庁の統計データが公表されています。しかし、それらには自殺の原因、動機等の詳細な内訳は公表されないため、町の特徴や予防策を見出すのは困難ですが、平成21年から平成29年の自殺の状況は、以下のようになっています。

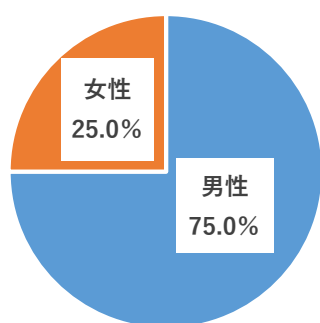
(出 典：厚生労働省 自殺の統計 地域における自殺の基礎資料 住居地集計ベース)

1. 自殺者・自殺死亡者の推移

本町の年間自殺者数について、平成21年からの推移をみると9年間で4人の方が自殺で亡くなっています。性別は、男性3人、女性1人となっています。北海道、全国の割合と比較すると、男性が約7割、女性が約3割ですが、本町もほぼ同様の割合となっています。

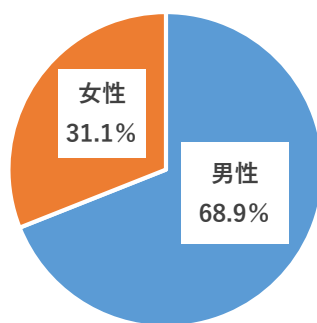
| | 平成21~29年 | | | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 |
|-----|----------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 |
| 奥尻町 | 4 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 北海道 | 11,109 | 7,664 | 3,445 | 1,558 | 1,498 | 1,398 | 1,267 | 1,216 | 1,130 | 1,094 | 978 | 970 |
| 全国 | 240,673 | 166,859 | 73,814 | 32,485 | 31,334 | 30,370 | 27,589 | 27,041 | 25,218 | 23,806 | 21,703 | 21,127 |

奥尻町



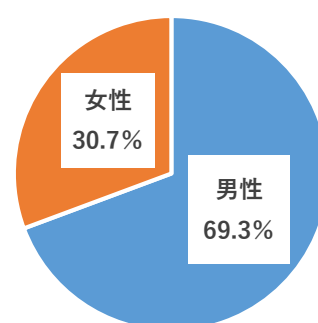
■ 男 ■ 女

北海道



■ 男 ■ 女

全国



■ 男 ■ 女

本町の自殺死亡率について、平成21年から29年における9年間の平均は14.72人でした。これは、北海道22.56人や国20.98人と比較すると低く推移しています。

| | | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成21～29年 平均値 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|
| 奥尻町 | 自殺者数 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| | 人口 | 3,343 | 3,229 | 3,160 | 3,067 | 2,978 | 2,926 | 2,882 | 2,823 | 2,762 | 27,170 |
| | 自殺死亡率 | 29.91 | 0.00 | 0.00 | 32.60 | 33.57 | 0.00 | 34.69 | 0.00 | 0.00 | 14.72 |
| 北海道 | 自殺死亡率 | 28.10 | 27.13 | 25.42 | 23.14 | 22.25 | 20.68 | 20.14 | 18.11 | 18.06 | 22.56 |
| 国 | 自殺死亡率 | 25.56 | 24.66 | 24.06 | 21.78 | 21.06 | 19.63 | 18.57 | 16.95 | 16.52 | 20.98 |

※人口10万人当たりの自殺死者数(自殺死亡率)

(奥尻町人口4月1日時点)

$$\text{自殺死亡率} = \frac{\text{自殺死者数}}{\text{人口}} \times 100,000$$

2. 年代別の状況

年代別の状況は、男性は20代に2名、30代に1名、女性は80代に1名自殺死亡者がいました。北海道や全国と比較すると、20～30代(若年層)の占める割合が高く、40～60代(中高年層)の割合が低くなっています。

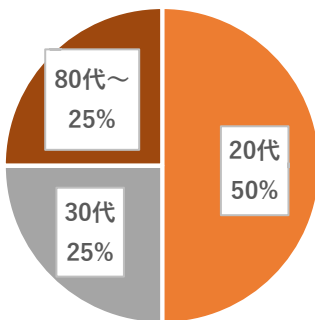
【奥尻町】

| 年代 | 平成21～29年 | | | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 |
|-------|----------|---|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 |
| ～19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20～29 | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 30～39 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 40～49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50～59 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 60～69 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 70～79 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 80～ | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 不詳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 4 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |

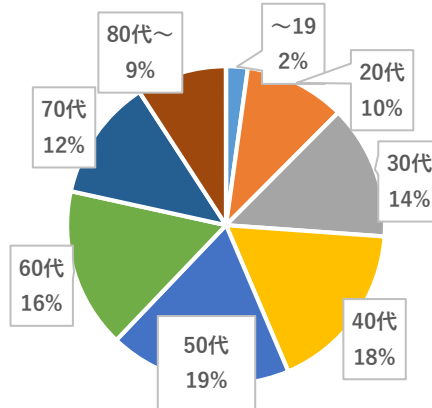
【北海道・国】

| 年代 | 平成21～29年 | |
|-------|----------|---------|
| | 北海道 | 国 |
| ～19 | 245 | 5,030 |
| 20～29 | 1,140 | 25,092 |
| 30～39 | 1,518 | 33,009 |
| 40～49 | 1,940 | 39,990 |
| 50～59 | 2,059 | 41,920 |
| 60～69 | 1,811 | 41,960 |
| 70～79 | 1,376 | 31,130 |
| 80～ | 1,019 | 21,556 |
| 不詳 | 1 | 986 |
| 計 | 11,109 | 240,673 |

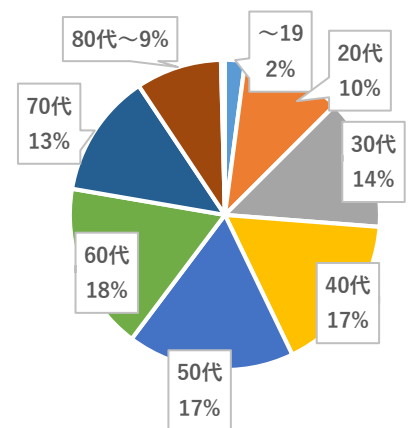
奥尻町



北海道



全国



■ ～19 ■ 20～29 ■ 30～39 ■ 40～49 ■ 50～59 ■ 60～69 ■ 70～79 ■ 80～ ■ 不詳

3. 職業別の状況

職業別の状況は、「自営業・家族従業者」「被雇用・勤め人」を合わせた方の割合が約7割を占めていました。北海道や全国と比較すると、仕事を持つ方の自殺の割合が高くなっています。

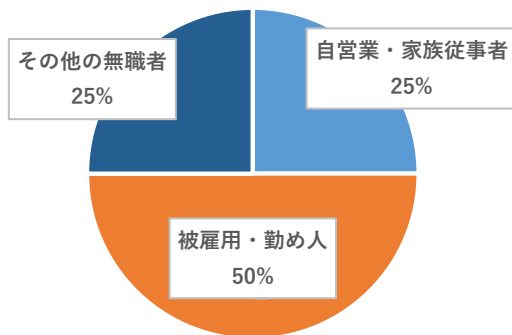
【奥尻町】

| 職業 | 平成21～29年 | | | 平成21年 総数 | 平成22年 総数 | 平成23年 総数 | 平成24年 総数 | 平成25年 総数 | 平成26年 総数 | 平成27年 総数 | 平成28年 総数 | 平成29年 総数 |
|-------------|----------|---|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 総数 | 男 | 女 | | | | | | | | | |
| 自営業・家族従業者 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 被雇用・勤め人 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 無職 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 学生・生徒等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 無職者 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 主婦 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 失業者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 年金・雇用保険等生活者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の無職者 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 不詳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 4 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |

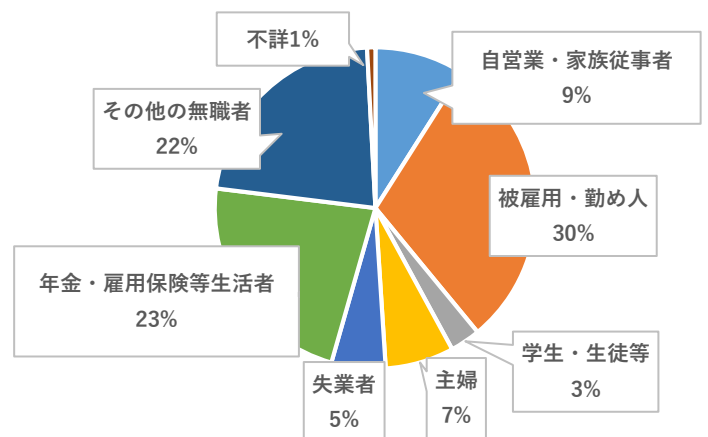
【北海道・国】

| 職業 | 平成21～29年 | |
|-------------|----------|---------|
| | 北海道 | 国 |
| 自営業・家族従業者 | 1,001 | 19,460 |
| 被雇用・勤め人 | 3,335 | 66,871 |
| 無職 | 6,680 | 149,985 |
| 学生・生徒等 | 338 | 8,054 |
| 無職者 | 6,342 | 141,931 |
| 主婦 | 767 | 16,547 |
| 失業者 | 605 | 12,163 |
| 年金・雇用保険等生活者 | 2,503 | 54,306 |
| その他の無職者 | 2,467 | 58,915 |
| 不詳 | 93 | 4,357 |
| 計 | 11,109 | 240,673 |

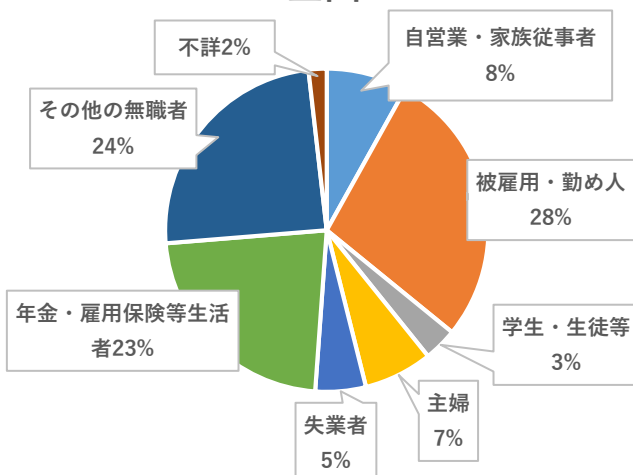
奥尻町



北海道



全国



- 自営業・家族従業者
- 被雇用・勤め人
- 学生・生徒等
- 主婦
- 失業者
- 年金・雇用保険等生活者
- その他の無職者
- 不詳

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

町民一人ひとりが、つながり、支え合うことで、自分らしく生きる喜びを実感でき、誰もが自殺に追い込まれることのない町となるよう、「生きるための支援」の充実を目指します。その実現に向け、奥尻町の自殺対策計画の基本理念は、以下のように定めます。

気づき、つながり、見守りのできる町 おくしり

2. 数値目標と指標

自殺総合対策大綱において、国は平成38年までに人口10万人当たりの自殺死亡者数(自殺死亡率)を平成27年18.5人から先進諸国水準13.0人以下までの30%以上減少させることを目標としています。

●国の数値目標

- ・自殺死亡率30%以上減少
- ・平成27年18.5人 → 平成38年までに13.0人以下

本町は人口が少ないため、単年毎の自殺死亡率で評価することが困難であることから、計画期間の平均自殺死亡率を数値目標として設定します。

●奥尻町の数値目標

| 指 標 | 初 期 値 | 目 標 値 | |
|-------|-------------|-----------------|-----------------|
| | | 中間目標 (平成34年) | 最終目標 (平成38年) |
| 自殺死亡率 | 14.72人 | 11.00人以下 | 10.00人以下 |
| 算出方法 | 平成21～29年平均値 | 平成31～34年平均値 | 平成31～38年平均値 |

3. 基本目標

本町では次の2つを基本目標として、それぞれの施策を推進していきます。

○基本目標 1 いのちと心を大切に作る町づくり

自殺は、その多くが追い込まれた末の死と言われていています。そこに至るまでには社会とのつながりが薄れ、孤立に陥る過程も見られます。

健康・経済・家庭問題等、自殺の背景・原因となる要因のうち、失業や多重債務長時間労働等の社会的要因については、相談・支援体制の整備など社会的な取組みにより防ぐことが可能です。

健康問題や家庭問題等、一見個人の問題と思われる要因であっても、専門家への相談や精神疾患等の適切な治療により、多くの自殺は防ぐことができます。

家族・職場・学校等の身近な人が自殺のサインに気づき、自殺予防につなげていくことが重要です。地域の中に気軽に相談できる機会をつくり、早期に自殺のサインに気づき自殺予防へつなげていくことに努めます。

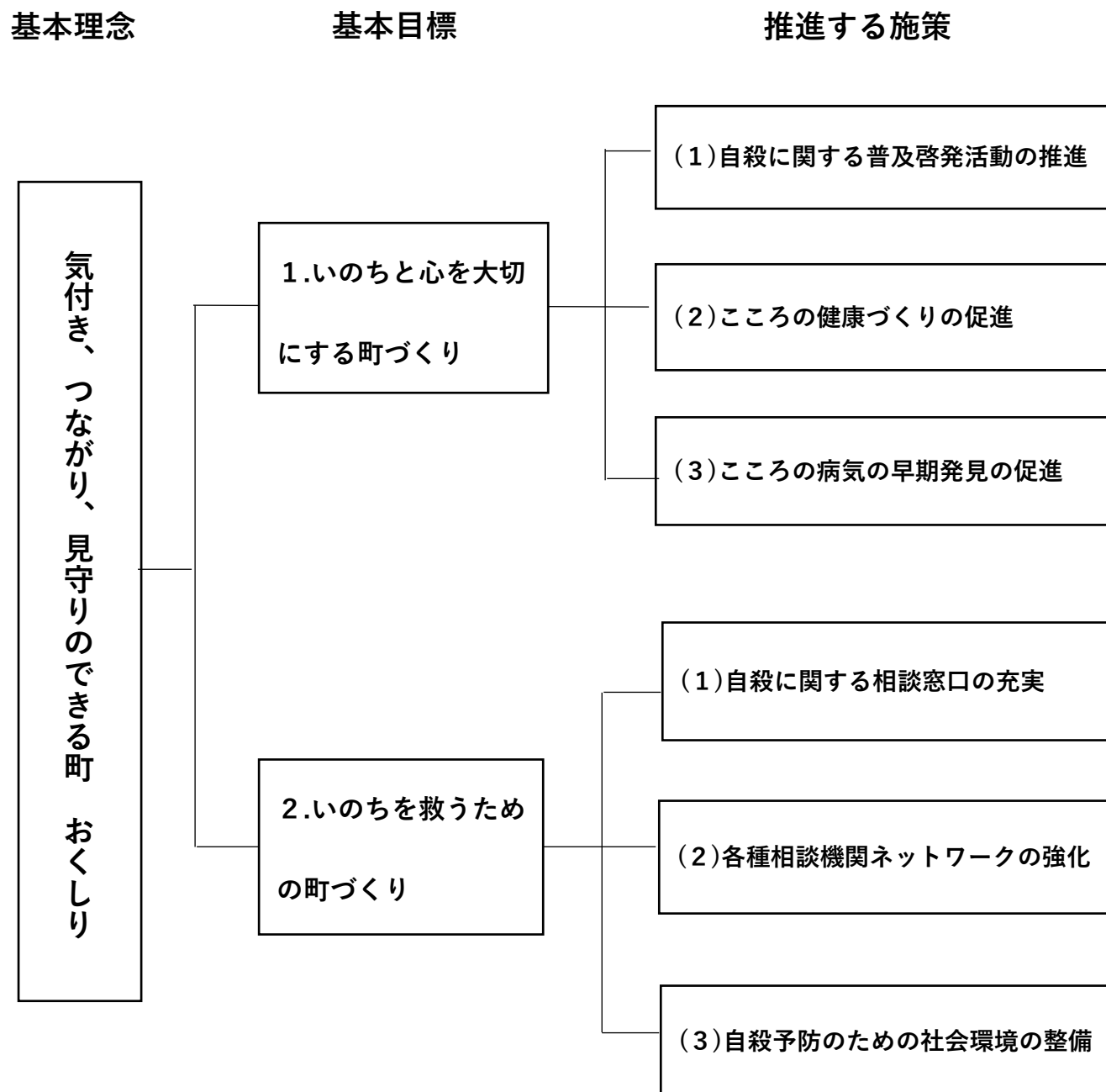
○基本目標 2 いのちを救うための町づくり

自殺対策は、様々な角度から取り組むことが求められており、庁内横断的に取り組むことが必要不可欠です。「自殺対策」という目的で行っている事業ではなくても、結果的に「自殺対策」につながっている取り組みも少なくありません。

行政各部署の事業を「自殺対策」の視点から共有することで、「生きるための支援」の体制づくりを推進します。また、関係機関や団体等と連携をとるとともに、状況に応じて適切な支援を行うため、専門機関の相談窓口へつなげることに努めます。

3. 施策の体系

基本理念・基本目標・推進する施策を体系的に表わすと、以下のようになります。



第4章 自殺対策における取り組み

○基本目標 1 いのちと心を大切にする町づくり

(1) 自殺に関する普及啓発活動の推進

| 事業名 | 内 容 (自殺対策の視点から) | 担当部署 |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------|
| 自殺対策強化月間における啓発 | 自殺対策強化月間における集中的な啓発活動を実施することで、自殺や精神疾患についての正しい知識を普及啓発し、住民の理解の促進を図ります。 | 保健福祉課保健指導係 |
| 自殺やメンタルヘルスに関わるリーフレット等の配布 | 自殺やメンタルヘルスに関する正しい知識を普及するため、各保健事業の利用者にリーフレット等を配布します。 | |

(2) こころの健康づくりの推進

| 事業名 | 内 容 (自殺対策の視点から) | 担当部署 |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 新生児産婦訪問事業 | 全ての産婦を対象に、産後うつスクリーニングを実施することで、産後うつ状態の早期発見・早期対応に努めます。 | 保健福祉課保健指導係 |
| 子ども発達支援センターの運営 | 児童福祉の専門的行政機関として、子どもに関する相談の受付、発達に心配のある子どもが地域の中で適切な支援を受け、心と身体が健やかに育つよう支援します。 | 保健福祉課子ども支援係 |
| 発達支援事業 | 小児科医、言語聴覚士、作業療法士、心理判定員など専門職による相談支援につなげ、子どもの育ちや保護者の育児を支援します。 | |
| 通園・療育事業 <個別通園> <ひよこ・かもめ教室> | 個別、小集団、学童小集団療育などの様々な角度から、一人ひとりの育ちに寄り添い、療育指導を行います。 | |
| 子育て懇親会 | 個別通園利用中の保護者と面談することで、子どもの成長を共有するとともに関わり方等について支援します。 | |

| 事業名 | 内 容 (自殺対策の視点から) | 担当部署 |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 子ども発達支援センターの運営 | | |
| 家族行事の企画 ＜茶話会＞ | 個別通園を利用する保護者らが、育児の悩みや不安に押しつぶされることのないよう、保護者間のコミュニティづくりを支えます。 | 保健福祉課子ども支援係 |
| 思春期健康教育 | 性や育児に関する正しい知識と情報を得るための講話や、コミュニケーションスキルの習得をねらいとしたロールプレイングを行うなど、生きる力を育む健康教育を推進します。 | 保健福祉課保健指導係 |
| いじめ不登校等対策委員会 | 町内における、いじめ・不登校や生徒指導上の解決に向けて、各学校の状況や実態把握、情報交換等を通じて、関係機関が密接な連携・推進を図ります。 | 教育委員会学校教育係 |
| いじめ根絶子ども会議 | いじめ問題について、児童生徒自身が話し合う場を設けることで、いじめは人間として許されないという社会規範や人間尊重の意識を身につけることを推進します。 | |
| 町職員の希望降任制度 | 健康上の問題を抱えたり、家庭の事情などによって、その職責を担うことが困難と感じた時に、職員が降任を希望することを認める制度を実施します。 | 総務課総務係 |
| 町職員の時差出勤勤務制度 | ストレスの原因となる長時間労働に対して、子育て・介護・地域活動等にかかわる個人の時間を確保し、健康で豊かな生活ができるよう、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の取組みを推進します。 | |
| 介護予防教室 ＜お元気サロン＞ | 高齢者の孤立化や閉じこもり、要介護状態の予防のために、各地区でサロンを開催し、地域での交流の場づくりを推進します。 | 保健福祉課包括支援係 |

(3)こころの病気の早期発見の促進

| 事業名 | 内 容 (自殺対策の視点から) | 担当部署 |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 母子健康手帳の交付 妊婦相談 | 全ての妊婦を対象に母子手帳交付時に保健師が面談を行います。必要に応じて産前産後に必要な支援を行い、産後うつ予防を図ります。 | 保健福祉課保健指導係 |
| 乳幼児健康診査未受診者 フォローアップ | 乳幼児健診・相談の利用状況を継続的に把握し、未受診者には電話連絡や家庭訪問を行うことで、子ども一人一人に切れ目なく関わるよう努めます。 支援が必要な状況と判断した場合は、関係機関と連携し支援を行います。 | |
| 子ども虐待予防スクリーニングシステム <子育てアンケート> | 虐待までいなくても、強い育児不安や育児困難を抱えていないかを早期発見するため、生後3～4カ月児の親を対象に子育てアンケートを行います。必要に応じて保健師等が継続的に支援します。 | |
| 町職員のストレスチェック制度 | 職員自身のストレスへの気付きとその対処を早期から対応するため、全職員へストレスチェックを行います。メンタルヘルスが不調となることを未然に防止するため、必要に応じて産業医の面談を行います。 | 総務課総務係 |
| 特定健康診査・特定保健指導 | 生活困難の原因となる心身の不調を予防するため、健康診査・保健指導をとおして、町民の健康の保持増進、疾病の早期発見・早期治療に努めます。 | 税務国保課国保年金係 保健福祉課保健指導係 |
| 後期高齢者健康診査事業 | | |

○基本目標 2 いのちを救うための町づくり

(1)自殺に関する相談窓口の充実

| 事業名 | 内 容 (自殺対策の視点から) | 担当部署 |
|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 保健福祉センター 各種相談窓口の開設 | 保健福祉センターでは、保健・医療・介護・障がい・福祉に関する幅広い相談に応じるため、関係機関と連携しながら相談窓口の充実に努めます。 | |
| 健康相談 (こころと身体) | 精神疾患についての正しい知識や接し方の情報提供など心身の健康に関する相談に応じます。また、必要に応じて適切に精神科等の専門医療機関へつなげるなどの支援に努めます。 | 保健福祉課保健指導係 |
| 生活困窮者に係る生活相談 | 生活困窮者が困窮状態から精神的に追い詰められることのないよう、早期に支援するため、本人の状態に応じた相談等を行うとともに、地域において安心した生活が送れるよう、生活困窮者の自立支援に取り組めます。 | 保健福祉課福祉介護係 |
| 地域包括支援センターによる相談事業 | 高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、総合相談に対応するワンストップ窓口としての周知を図るとともに、権利擁護などに関する幅広い相談に応じます。 | 保健福祉課包括支援係 |
| 民生委員・児童委員による相談支援 | 民生委員・児童委員は、地域での声かけや見守りなど、地域福祉活動における中心的役割を担っています。少子高齢化の進行や、単身世帯の増加等の社会情勢の変化により、支援が必要な人が増加傾向にあるため、各委員が活動しやすい環境づくりに取り組み、地域活動支援の充実に努めます。 | 保健福祉課福祉介護係 |
| 消費者生活相談 | 商品の購入、契約に関するトラブルなど本人に代わり交渉することにより不安を解消し、地域で安心して暮らせる環境をサポートします。 | 地域政策課住民生活係 |

| 事業名 | 内 容（自殺対策の観点から） | 担当部署 |
|------|------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 人権相談 | いじめ、DV 等の人権侵害から人権を守るため相談窓口や定期的には人権擁護委員による人権相談を実施します。 | 地域政策課住民生活係 |
| 法律相談 | 様々な法律相談から多重債務対策など用途に応じ年 3 回弁護士による無料相談会を実施します。相談会以外にも直接相談があれば弁護士に取次ぐことも対応します。 | |



(2)各種相談機関ネットワークの強化

| 事業名 | 内 容 (自殺対策の視点から) | 担当部署 |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 児童虐待の適切な対処・ 児童支援のための連携 | 児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応および適切な支援を行うために、個別ケース会議の開催や要保護児童対策協議会などをとおして、関係機関との連携強化を図ります。 | 保健福祉課福祉介護係 |
| おくしりささえあい福祉 フェア | 福祉に関わる講演会や展示、福祉専門職による相談の受付など、地域住民が福祉に気軽に触れることにより、子育て・障がい者・高齢者への理解を深め、安心して生活のできる地域づくりに努めます。 | |
| 訪問・電話安否確認事業 | 奥尻町社会福祉協議会と連携し、定期的な電話連絡や訪問活動を通して、ひとり暮らしの高齢者の安否確認をするとともに、社会的に孤立することのないよう不安の解消に努めます。 | 保健福祉課包括支援係 |
| 地域ケア会議 | 個別ケースの情報共有、支援における役割分担など、関係機関との連携強化を推進します。 | |
| 奥尻町防犯協会 | 犯罪、詐欺の注意喚起等、地域住民が安心して暮らせる、詐欺等により生きがいを失わない地域づくりを目指して関係機関と連携した取り組みを実施します。 | 地域政策課住民生活係 |
| 納税相談における各種相談窓口との連携 | 納税相談の中で、抱えている複合的な問題について、必要に応じて本人同意の下、保健福祉課で行う生活相談や健康相談の相談窓口へつなぎます。 | 税務国保課税務係 |
| レセプト点検における 自殺予兆の発見・ 関係機関との連携 | 診療報酬明細書に精神疾患の急性増悪、希死念慮の出現等の記載があったときは、必要に応じて自殺対策担当課に情報提供を行い、関係機関との連携強化を図ります。 | 税務国保課国保年金係 |

(3) 自殺予防のための社会環境の整備

| 事業名 | 内 容 (自殺対策の視点から) | 担当部署 |
|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 家庭教育ナビゲーターの有効活用 <学びカフェの開催> | 地域の保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう、町内の家庭教育支援者のサポートやネットワーク化を進め、子育てをする保護者同士が悩みを共有したり、家庭教育ナビゲーターに気軽に相談できるような場を提供します。 | 教育委員会社会教育係 |
| おくしりチャレンジスクールの開催 | 子どもたちの「生きる力」を育むため、地域の多様な人材や企業等に参画していただき、学校では経験できないような体験事業を実施します。土曜日を中心に年8回開催。参加する子ども同士や親子の絆が深まると同時に、地域全体で子どもたちを育てるという気運が醸成されます。 | |
| 奥尻町見守りネットワーク | 高齢者の見守り体制を強化するため、さまざまな事業者と連携した見守りネットワークを築き、地域で安心して生活できる体制整備に努めます。 | 保健福祉課包括支援係 |
| 配食サービス事業 | 高齢者の生活支援として行う弁当の宅配サービスにより、高齢者が地域から孤立しないための見守り、安否確認を行います。 | |
| 認知症サポーター養成 | 認知症の正しい知識と理解を呼びかけ、地域における認知症当事者や家族の負担を軽減し、安心して暮らせる地域づくりに努めます。 | |
| 民生委員・児童委員の養成研修 | 社会情勢の変化を捉え、活動を進める上での留意点の確認や、様々なニーズへ対応するために必要な知識や技術の習得を図ることを目的に実施します。 | 保健福祉課福祉介護係 |

第5章 計画の推進体制

こころの健康づくり・自殺対策の推進のためには、町民一人ひとり、行政、関係機関が連携・協働して取り組む必要があります。また計画の推進のためには庁内全体で横断的に取り組む体制づくりも必要です。本町では、「奥尻町自殺対策推進庁内連絡会議」を設置して、全庁的かつ総合的に取組みを実施します。

自殺対策を進めるにあたり、道や民間団体との連携は必要不可欠です。特に人口が少ない本町では、単独では実施困難な事業もあり、道や民間団体等が実施している事業を活用し、連携することで、より活発に取り組んでいきます。

奥尻町自殺対策推進庁内連絡会議 所属課一覧(平成31年3月現在)

| 所 属 | | 分 野 |
|----------|------------|------------------------------|
| 総務課 | 総務係 | 勤務問題 |
| 地域政策課 | 住民生活係 | 経済生活問題 勤務問題 男女問題 |
| 税務国保課 | 国保年金係 | 経済生活問題(医療費等) |
| | 税務係 | 経済生活問題(納税等) |
| 教育委員会事務局 | 学校教育係 | 学校・生徒への支援 |
| | 社会教育係 | 社会教育活動 |
| 保健福祉課 | 福祉介護係 | 経済生活問題 子育て・家庭問題 障がい者支援 |
| | 子ども支援係 | 子育て支援 家庭問題 |
| | 包括支援係 | 高齢者・障がい者支援 地域づくり |
| | 保健指導係(事務局) | 健康問題 |

道、関連機関等の事業

| 機 関 名 | 事 業 内 容 | 備 考 |
|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 北海道 | ○北海道いのちの電話相談 | 011-231-4343 (24 時間) |
| 北海道立精神保健センター | ○こころの電話相談 | 0570-064-556 (月～金 9:00～21:00) (土日祝 10:00～16:00) |
| 江差保健所 | ○こころの健康相談 | 0139-52-1053 (代表) |
| 北海道立江差病院 | ○外来 神経精神科 | 0139-52-0036 (代表) |
| 法テラス江差法律事務所 | ○借金問題など | 0139-52-0036 (相談予約) |
| 生活就労サポートセンター ひやま | ○生活困窮者の自立相談支援など | 0139-54-6300 (月～金 9:00～17:00) |
| 道南わかりあいの会「あかり」 (自死遺族の会) | ○自死遺族相談など | 03-3261-4350 (木曜日 11:00～19:00) |
| 北海道発達障害者支援センター あおいそら | ○障害者に関わる機関支援、社会的 支援など | 0138-46-0851 (相談支援専用) |
| 道南しょうがい者就業生活支援 センター すてっぷ | ○障害者の職業生活の自立支援など | 0138-34-7177 |
| 指定相談支援事業所 ひかり | ○障害者の個別相談支援、地域の支 援体制づくりなど | 0137-83-8115 (月～金 9:00～17:00) |
| 北海道教育委員会檜山教育局 | ○いじめ相談電話 | 0139-52-1123 (月～金 8:45～17:30) |
| 北海道教育委員会 | ○子ども相談支援センター | 0120-388-256 (24 時間無料) |
| | ○24 時間子供 S O S ダイアル | 0120-0-78310 (24 時間無料) |
| 奥尻町社会福祉協議会 | ○心配事相談 | 01397-2-3591 (8:30～17:15) |

奥尻町自殺対策計画

(2019 年度～2026 年度)

発 行 平成 31 年 3 月

発行者 奥尻町

編集者 保健福祉課保健指導係

住 所 〒043-1403

北海道奥尻郡奥尻町字奥尻 462 番地

奥尻町保健福祉センター

電 話 01397-2-3381